

【発行】大船渡仮設住宅支援事業

〒022-0004

岩手県大船渡市猪川町字長洞 62-1

大船渡仮設住宅支援事業事務局内

TEL : 0120-628-638

E-Mail : ofnt_otoiawase@yahoo.co.jp

Web : http://ofunatocity.jp

はまらい

大船渡仮設住宅 支援員新聞

No.7

2013.

2月号



◀ 「泣ぐワラスあ山さ連れでぐらなあ!!」
鹿の毛皮を身につけたり、角の生えた平らな面をつけているスネカもいる

怠けものあ山さ連れでぐぞ!

小正月のオツカネエ訪問者

「泣ぐワラスあいねえがー」「怠け者あいねえがー」前日の大雪が残る中、国の重要無形民俗文化財に指定されている「スネカ」が、今年も三陸町吉浜地区で行われました。毎年1月15日の小正月の夜に行われる、怠け者や泣く子を戒める恒例行事。恐ろしい姿をしたスネカが、ボオツ、ボオツと鼻をならし、ガラガラと音を立てながら家々を回ります。

ドンドンドン!!と戸をたたく音。荒々しい息遣いが聞こえたかと思うと、玄関の窓からじいっと覗き込む得体の知れない恐ろしい姿。それまで楽しそうにはしゃいでいた子供達はこわばった表情に一変。その直後勢いよく戸が開き、低い姿勢で飛び込んできた2体

のスネカは大声で脅します。「言うごと聞がねえど山さ連れでぐぞ!!」——スネカは豊漁や五穀豊穡を願う習わしで、腰にあわび



▲ うわあ、来た!!

の殻を幾つもつけているのが特徴。その他にも口を開けた馬とも犬とも言えぬ奇怪な形相をした面、背中には怠け者を入れる俵を背負い、「ギリハ」という血のりをつけた模範包丁を持ち家の者を脅して回ります。

始まりは江戸時代と云われていますが定かではありません。寒い時期に囲炉裏にばかりいて、怠けて動かない者の脛についた火形を剥ぐ、という「脛皮(スネカワ)たくり」が語源とされます。昭和30年代には盛

なに行われていましたが、徐々に衰退。その後平成7年、「吉浜スネカ保存会」が結成されました。同16年2月には国の重要無形民俗文化

いい子になるよ! 泣かない!

子供達は両親にギュッとしがみつき、「いい子にします!!」「言うこと聞くからあつちいって!!」と泣きながら良い子にすることを約束し、納得したスネカ達は低い姿勢のまま、後ずさりしながら帰っていきま

しながら帰っていきま

化財に登録され、保存に取り組まれています。現在は主に中学生がスネカに扮し、約400世帯を12班程に分かれて回ります。

ボケはおかしくなんかない ちょっとユーモアなだけなんだ

あの人に
インタビュー

「気仙ボケー座」

典人会 河原明洋さん



▲ (上)テレビで行われているのはのど自慢だそう
(下)気仙語のアドリブも飛び出し大笑い!

全国各地や海外での公演を経験し、その公演数は230回以上に上る「気仙ボケー座」というボランティア劇団があります。これは大船渡市の社会福祉法人「典人会」の職員らが中心となり、認知症について正しく知ってもらうと平成7年に旗揚げされました。

「気仙ボケー座」の窓口担当である河原明洋さんにお話を伺いました。

劇の内容は、施設の利用者さんの様子を職員が書きとめた「ネタ帳」なるものを基に、ほとんどが実際の出来事から作られています。例えばごはんを食べたとか食えないとか、認知症のお年寄りを抱えている家族の方であれば「あー、これよくある!!」みたいな感

知ってもらいたいと思います。今は雪の時期なので遠方公演は控えています。大船渡市内の公演も増やしたいです。大船渡も認知症の方は多くいらっしゃいますが、せっかく「ボケー座」のあるところなので、大船渡市全体で認知症ケアに取り組める町を作っていきたいな、と思います。

◇気仙ボケー座の公演依頼はこちら
0192・21・2122

今後の展開はありますか?

更に多くの方に認知症について知ってもらいたいと思います。今は雪の時期なので遠方公演は控えています。大船渡市内の公演も増やしたいです。大船渡も認知症の方は多くいらっしゃいますが、せっかく「ボケー座」のあるところなので、大船渡市全体で認知症ケアに取り組める町を作っていきたいな、と思います。

三陸町越喜来 杉下仮設団地 愛を持って 住民の方々を支える

支援員ニュース
おじゃましまーす



▲(上)小正月のみずき団子作り。みんなでパチリ
▼(下)杉下仮設支援員のみなさん。集会所前のフクロウと一緒に

今回取材した杉下仮設団地は、84世帯の少し大きな団地です。3人の元氣な女性の支援員

がいます。こちらでは支援事業が始まった当初から比べると、集会所の利用やイベント時の参加者はとても多くなりました。増加の理由は何よりも「杉下仮設団地全体のまとまりの強さ」があげら

れると支援員は言います。杉下仮設団地は元氣なお年寄りの方々が多く、とても積極的に活動する事が大きいと思われます。お年寄りの方々から「何かしてえな」と声が上れば、自治会や青年部の方々が日程や内容を

を決め、支援員はお手伝いとして参加。そういった自治会や住民の方々の積極的な活動や交流を通じて、当初はあった仮設団地の中の「従来の地区」といっ

た垣根も無くなりました。杉下仮設団地が一つの「地区」となるとままりが生まれた事による、集会所の利用やイベント時に住民の方々が多数参加することに繋がったのです。支援員は「あくまで支援員という立場をわきま

皆さん、小正月の行事はどんなものがあるかご存知ですか？今回は赤崎町の蛸ノ浦保育園で開かれた、みずき団子作りを取材してきました。保育園では毎年、小正月の時期に食べ物への感謝と、今年も豊作であるようにと願って開かれています。ほかに園

今月のスマイル

満開のみずき団子に笑顔も満開!!



▲上手にお団子できた人～？ はあ～い!!

児たちは「お野菜が食べられますように」など、可愛らしい願いをこめて団子を作っていました。団子の色は全部で、赤、白、黄、緑の4色。園児は真っ白な粉を顔などにつけて、団子の生地を小さな手のひらでコロコロと丸めていきます。とても上手だったので先生

先生は、「このみずき団子作りを通して、小さい子から大きい子まで兄弟のようにお世話をし、居心地良く同じ場所を過ごせたらいいな」と語ってくれました。出来上がったみずき団子は、まるでお花が満開に咲いたように綺麗でした。園児は、「簡単だったし、楽しかった!」「可愛くてきてよかった!」と笑顔で喜んでいました。

くらしの知恵

ちよつと待って!

その電話大丈夫?

大船渡市内に住まれている方が、仮設住宅購入費と保証金名目で450万円をだまし取られるという、特殊詐欺被害が発生。

昨年、ある会社から被害者宅に仮設住宅として利用できるという建物のパンフレットが届きました。別の会社から「パンフレットにある建物を購入したいが、同業者は契約できない。謝礼金を支払うので、代わりに契約してくれないか。」と話をもちかけられたそう。

被害者は利益があると信じ込み、契約。その後何度か、仮設住宅購入費や保証金として指定口座への振り込み要求があり、

振り込め詐欺は近年増加しています。誰でも簡単にできる対策として、在宅時であっても常に留守番電話に設定しておき、犯人と直接対応する機会を一旦遮断する方法があります。犯人がメッセージを残したとすると、直接対応した場合と比較し

でも落ち着いた対応が可能となるので、犯行電話であることを見破ることもできます。さらには、録音された声が犯人につながる情報になります。

現在警察では、「怪しい電話があった場合、一人で判断せずに、必ず周りの人に相談したり、通報してほしい。」と呼びかけています。

必ず儲かるといった都合のいい話はありません。誰もが絶対にだまされないという保障もありませんので、日頃から注意するようにしましょう。少しでも不安を感じたら、下記に連絡することをお勧めします。

<連絡先>

- 110番
- 大船渡警察署 0192-26-0110
- 大船渡市消費生活センター 0192-27-3111 (平日 8:30~17:15)
- 大船渡市仮設住宅コールセンター 0120-628-638 (年中無休 8:30~17:30)



今月のいちまい

1月10日、大船渡小学校体育館にて「東北人魂スポーツフェスティバル」が開かれました。小笠原満男選手や、なでしこジャパンの岩清水梓選手などが訪れ、子供達も楽しそうにしていました。

編集後記

1月に入りとても寒くなってきましたが、みなさんは風邪など引いていませんか？基本的なことですが手洗い・うがいをし、風邪予防をしましょう！そして栄養がある食べ物として、みかんにはビタミンAとなるカロチンや、ビタミンC、Eが含まれていて風邪予防になるのでお試しください。

さて新年になり、この支援員新聞「はまらい」に新しい企画などを取り入れて盛り上げていけたらいいなと思います。読者の方々

からも「こんなイベントがあるよ!」とか「こんな取り組みしているから見に来て!」といった情報があれば、どしどし広報にご連絡いただくと嬉しいです!読者の方々あつての「はまらい」だと思います。そのことをしっかりと頭に入れて、今年も支援員新聞作りを力にしますので今後ともよろしくお願いいたします。(K)

新聞へのご意見・ご感想は、こちらまで。
大船渡市猪川町字長洞 62-1
大船渡仮設住宅支援事業事務局内
TEL: 0120-628-638
E-Mail: ofnt_otoiawase@yahoo.co.jp